

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における

三先小学校の結果の分析と今後の取り組みについて

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣調査」について、令和4年4月から～7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一生教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に児童の体力向上をめざしています。

1 調査の目的(全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領により抜粋)

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な児童の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- ・三先小学校では、5年生 61名

3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査(以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様)

小学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目]握力、状態起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査を実施する。

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立三先	小学校	児童数	61
--------	-----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.21	15.29	33.96	35.56	37.35	9.53	155.81	21.74	50.46
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	17.36	16.09	37.21	36.76	32.94	9.29	151.82	13.88	54.42
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

- ・男女共に「握力」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」は、大阪市、全国平均を上回る結果となった。
- ・男子は、「握力」「長座体前屈」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」は、大阪市、全国平均を上回った。一方で、「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」は、大阪市、全国平均を下回る結果となった。特に、「上体起こし」の項目については、大阪市平均よりも、約3ポイントも下回る結果となっており、課題があると考えられる。
- ・女子は、「握力」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」は、大阪市、全国平均を上回る結果となった。一方で、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」は、全国平均を下回った。特に、「上体起こし」の項目は、大阪市平均より、1.5ポイント下回った。
- ・体力合計点において、男子は大阪市、全国平均より下回った。一方で、女子は、大阪市、全国平均より上回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

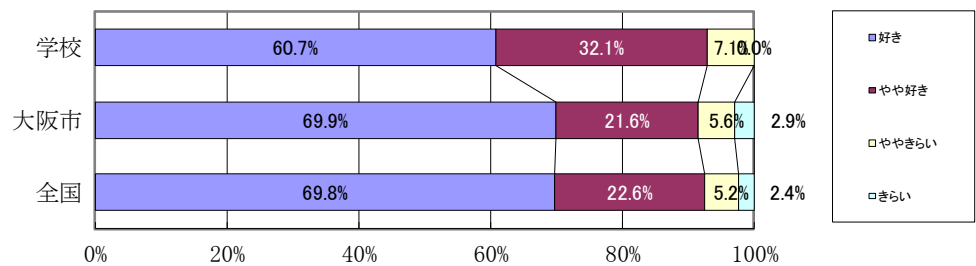
- ・運動カード(三先チャレンジカード)を発達段階に応じて作成したものを児童に配付した体育科の授業や休み時間などで挑戦し、できたことを記入していき、それぞれが目標を立てて取り組めるようにした。
- ・姿勢すっきりタイム・呼吸法・体幹トレーニング・コーディネーショントレーニング・ビジョントレーニングなどの動きを入れたプログラム(三先エクササイズ)を、週3回、昼休み後の10分間に行った。
- ・体育科における感覚づくりの運動の導入・スマイル体操・リズムジャンプ・ボルダリング・バランスコーナーなど、学校生活全般で楽しく運動できる施設も設けた。
- ・机・椅子などの環境整備、保健指導・食育指導を行った。姿勢について委員会で啓発活動を行い、姿勢についての意識を高めることができた。
- ・体育的行事で体力向上につながる取り組みを実施してきた。
- ・ここ数年にわたるコロナ禍における対応によって、コロナ禍以前より運動時間が減少している。しかし、全国平均を上回った項目があるのは、普段の体づくりの取り組みの効果が、要因の1つであると考えられる。今後の課題として、「上体起こし」や「反復横とび」につながる運動を体育科の学習などで取り入れて、向上させていきたい。

運動やスポーツについて（男子）

本校の特徴的な結果

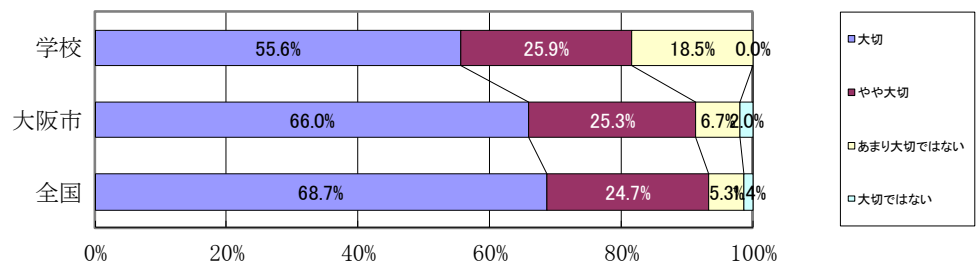
検証項目1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



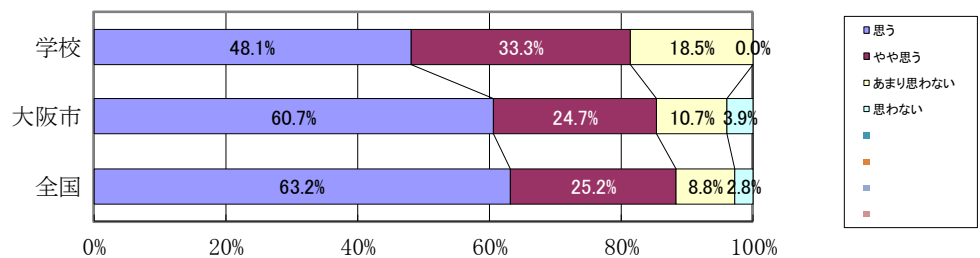
検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



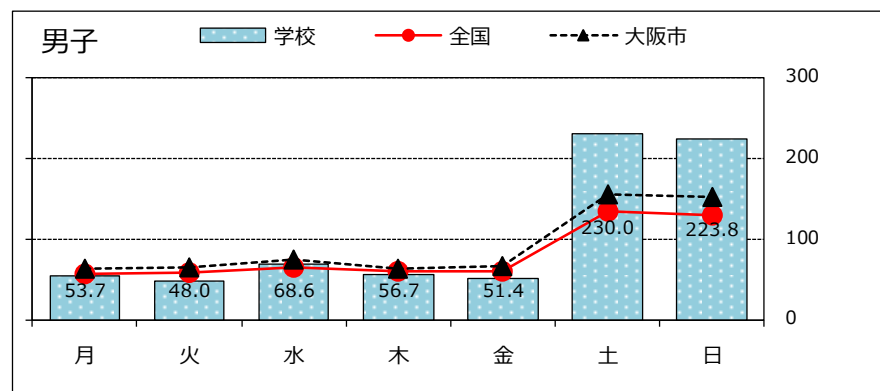
検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持たたいと思いますか。



検証項目4

学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動やスポーツをしていますか。



成果と課題

運動カード「三先チャレンジカード」を活用し、休み時間や体育の時間などでできたことをカードに書き込み、各自目標を設定できるようにした。アンケートの結果から、土曜日、日曜日に、スポーツをしている時間が長く、これは、全国、大阪市の平均時間を上回る結果となった。しかし、「運動することが好き」「運動することは大切」という項目では、最も肯定的に回答する児童が、全国・大阪市の平均時間を下回っている状況であった。

今後の取組

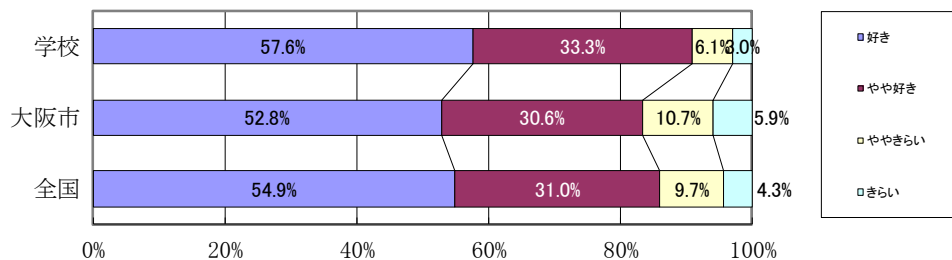
意欲的にスポーツや運動に取り組み、スポーツや運動が楽しいと思えるような活動を行っていく。

運動やスポーツについて（女子）

本校の特徴的な結果

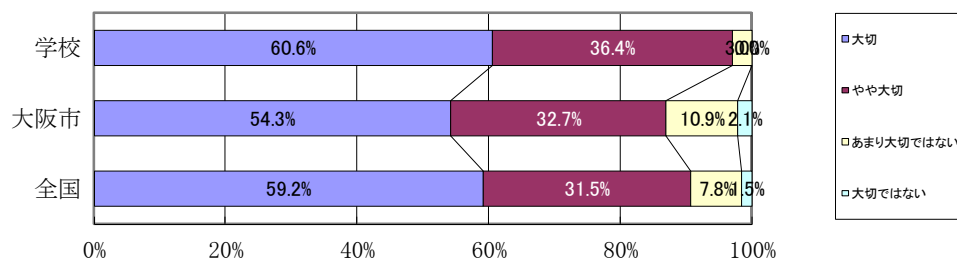
検証項目1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



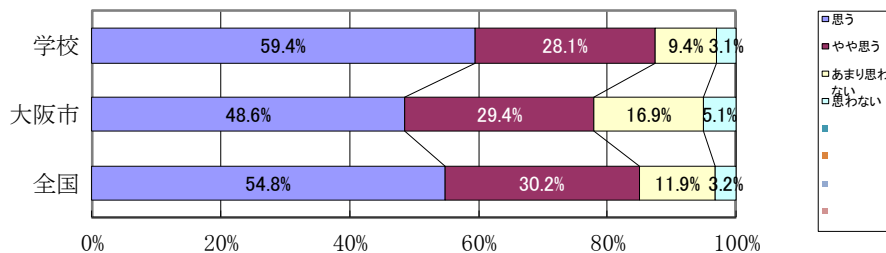
検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



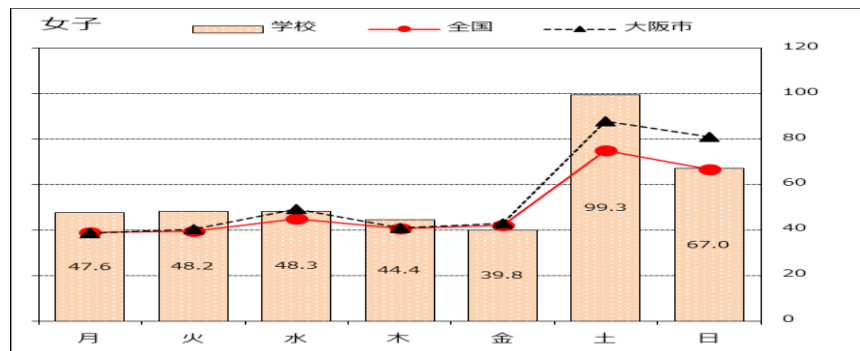
検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



検証項目4

学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動やスポーツをしていますか。



成果と課題

運動が好き、運動が大切と答える児童は、大阪市と全国の平均値を上回る結果となった。また、一日に運動やスポーツをしている時間も、大阪市、全国の平均値を共に上回っている曜日が多かった。中学校に進んでも、スポーツをする時間を持ちたいと思う児童も多くみられることから、運動やスポーツに対して意欲があることがわかる。

今後の取組

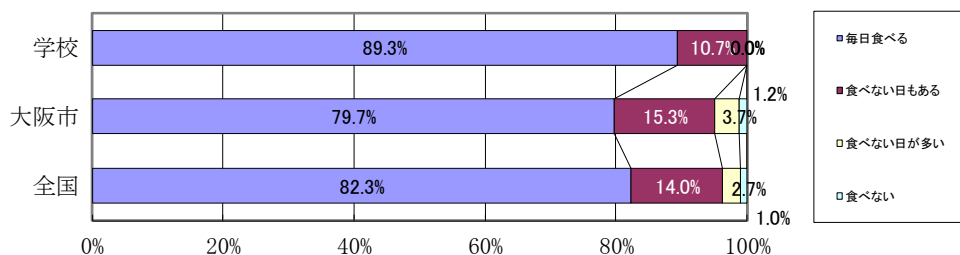
男女ともに、運動やスポーツが楽しいと思うことができるような取り組みや活動を行っていく。

ふだんの生活について（男子）

本校の特徴的な結果

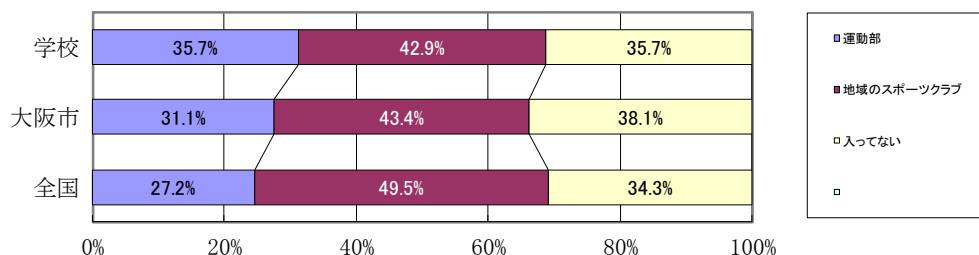
検証項目1

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



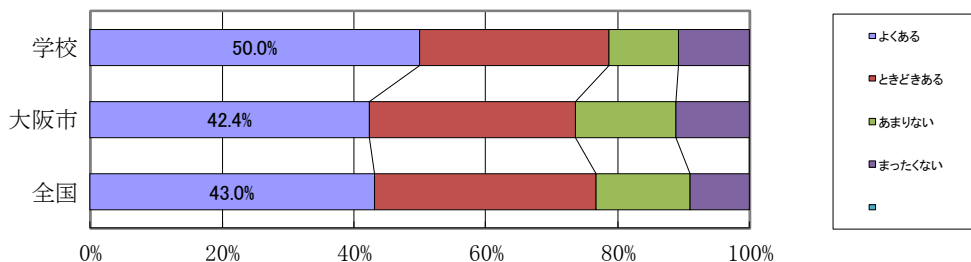
検証項目2

学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。(スポーツ少年団をふくみます)当てはまるものをすべて選んでください。



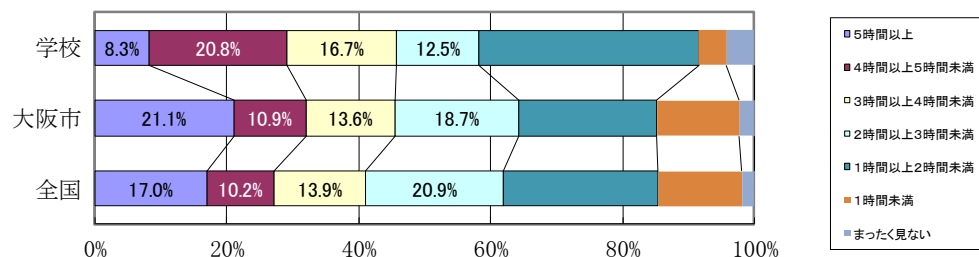
検証項目3

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることがありますか。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



成果と課題

家庭へ「給食だより」や「食育だより」を通して、朝食を食べることの大切さや、情報教育や生活指導等で情報機器の取り扱いについて継続して指導している。朝食を「毎日食べる」と答えた児童の割合は大阪市、全国平均を上回り、毎日食べない児童は0%であった。スポーツクラブに入ったり、放課後に外で運動している児童は、大阪市と全国を上回っている。

今後の取組

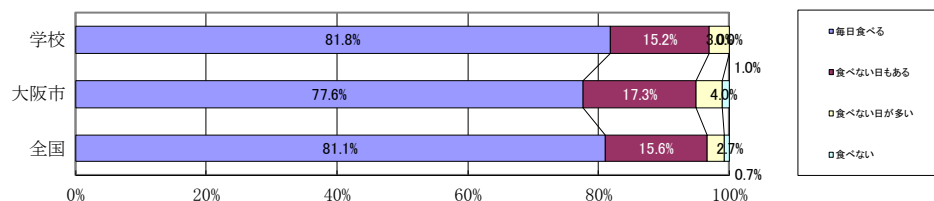
朝食を食べることの大切さや情報機器の使用について、継続して指導するとともに、家庭への啓発も積極的に行っていく。

ふだんの生活について（女子）

本校の特徴的な結果

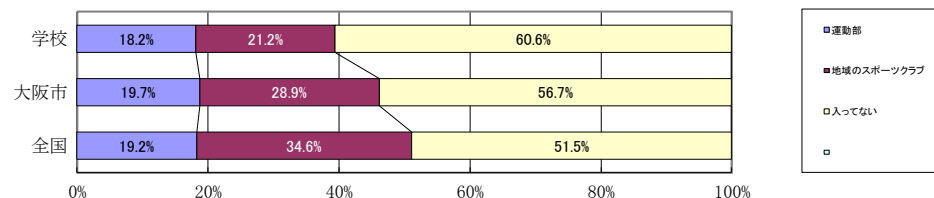
検証項目1

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



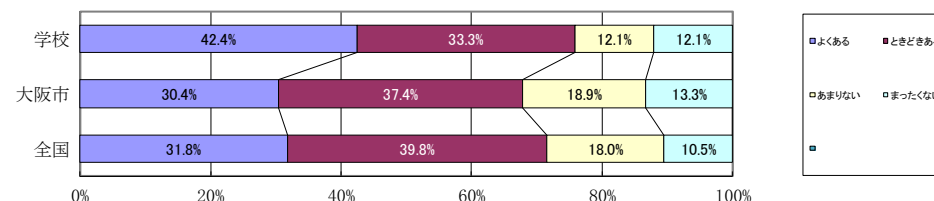
検証項目2

学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。(スポーツ少年団をふくみます) 当てはまるものをすべて選んでください。



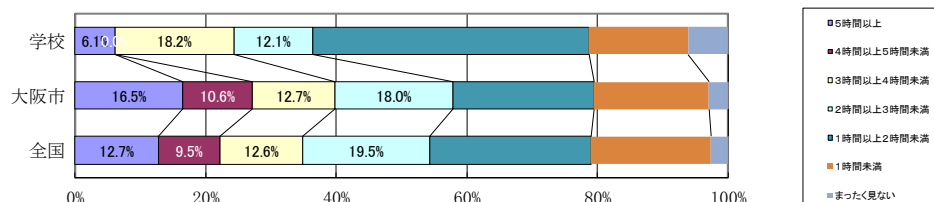
検証項目3

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることがありますか。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ますか。



成果と課題

家庭へ「給食だより」や「食育だより」を通して、朝食を食べることの大切さや、情報教育や生活指導等で情報機器の取り扱いについて継続して指導している。アンケートの結果から、ほとんどの児童が朝食を食べている。また、放課後等に外で運動している児童が大阪市や全国よりも割合は高く、情報機器の使用は少ない。

今後の取組

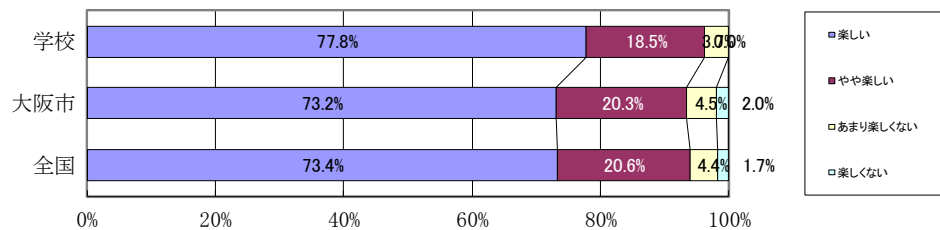
現状を維持・向上するために、朝食を食べることの大切さを継続して家庭へ啓発していく。

体育の授業について（男子）

本校の特徴的な結果

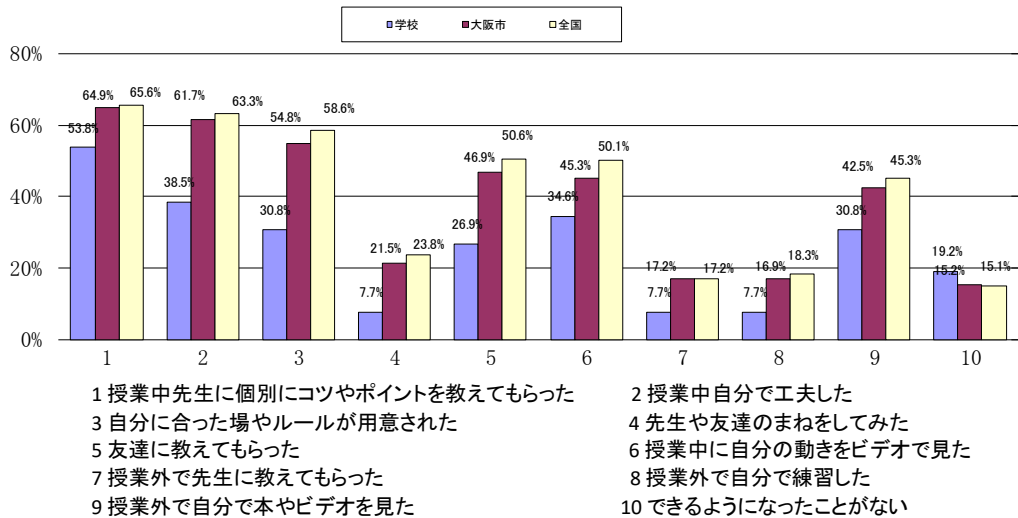
検証項目1

体育の授業は楽しいですか



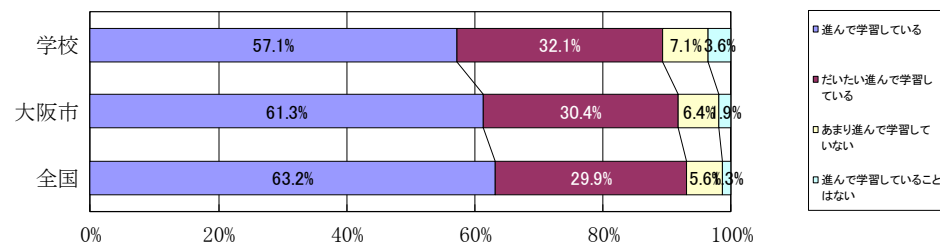
検証項目2

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



検証項目3

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



検証項目4

体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



成果と課題

体育科の授業が楽しいと感じている児童が全国大阪市平均値より高いことがわかる。「目標を意識して学習することで、できたりわかったりするところがある」と最も肯定的に答えた児童も、大阪市と全国を上回っている。一方で、体育の授業に進んで学習に参加していると答えた児童は、大阪市や全国平均を下回っている。

今後の取組

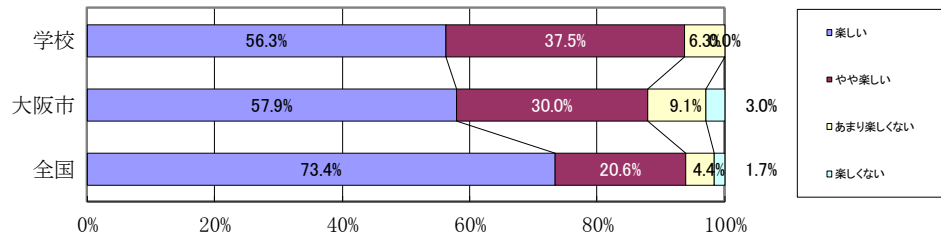
友だちとのかわり合いを大切に、主体的に学習に向かうことができるような取り組みや活動を行っていく。

体育の授業について（女子）

本校の特徴的な結果

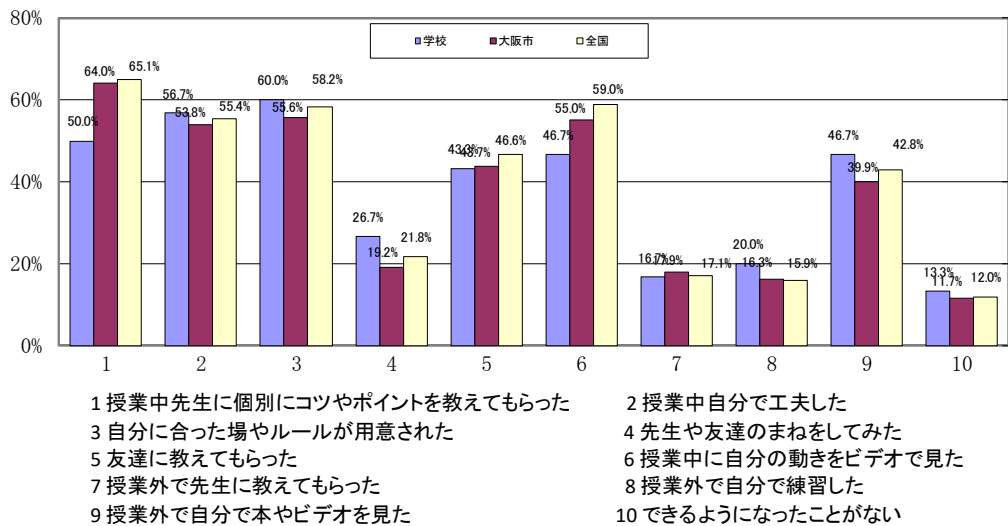
検証項目1

体育の授業は楽しいですか。



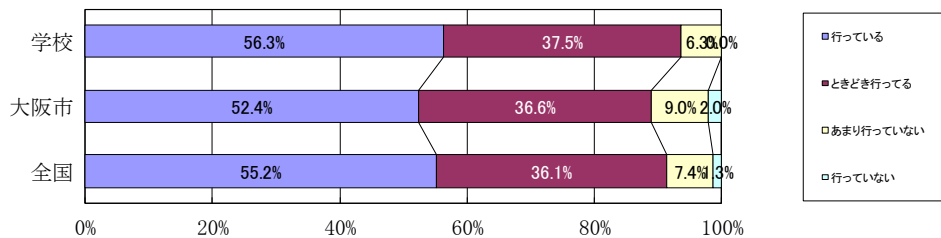
検証項目2

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



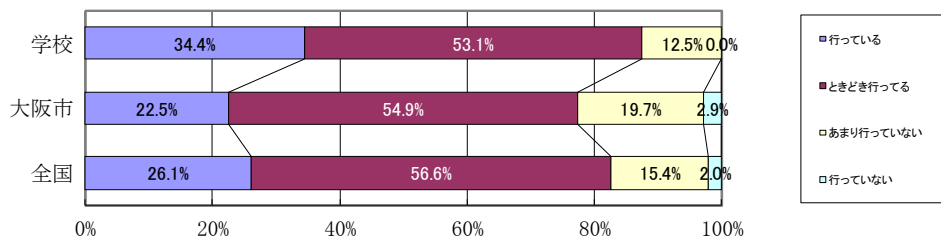
検証項目3

体育の授業では、進んで学習に参加していますか



検証項目4

体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



成果と課題

体育科の授業は楽しいと感じている児童は、大阪市や全国の平均値より少ない。一方で、進んで学習に参加していると答えた児童は、大阪市、全国の平均値を上回った。学習に対しては、積極的に取り組んでいるが、楽しいと感じている児童が少ないことから、ゲームや多様な活動を通して、楽しいと思えるような取り組みをしていく必要がある。

今後の取組

「体育科の授業が楽しくない」と感じている児童に対しての働きかけや手立てを考えていく。

その他（男子）

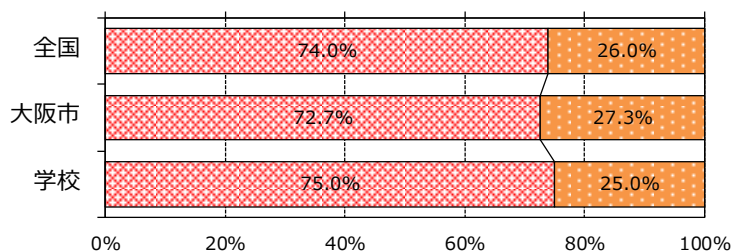
本校の特徴的な結果

検証項目1

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか

男子

1.目標を立てている 2.目標は立てていない

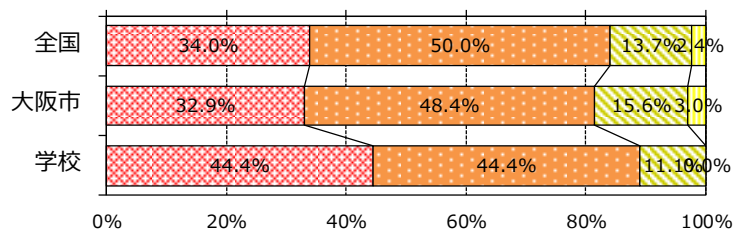


検証項目2

体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

男子

1.いつもある 2.だいたいある 3.あまりない 4.全くない



成果と課題

体力テストの結果から自分なりの目標を立てている児童は、大阪市や全国より多いことがわかる。また、体育で自分の練習方法を選択し、学習している児童が多いこともわかる。この結果から、自分の得意、不得意な運動を理解し、それに対する課題に対して取り組んでいるということがわかる。

今後の取組

体力テストの結果を振り返り、体育科の授業で、自分に合った練習方法を選び、取り組むことができるような活動を増加させていく。

その他（女子）

本校の特徴的な結果

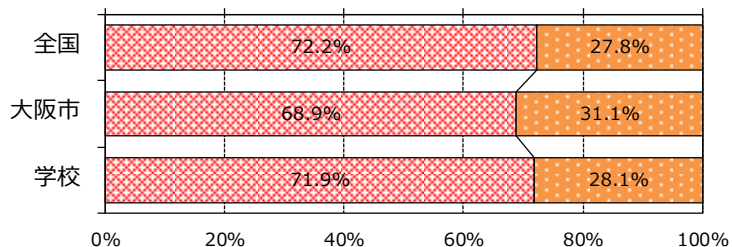
検証項目1

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

女子

1.目標を立てている

2.目標は立てていない



検証項目2

体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

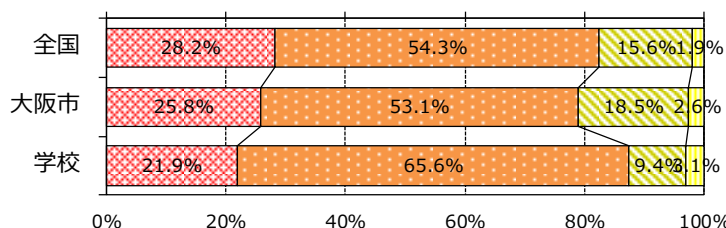
女子

1.いつもある

2.だいたいある

3.あまりない

4.全くない



成果と課題

体力テストの結果や、運動能力の向上について、目標を立てている児童は、大阪市、全国よりも多いことがわかる。また、体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習し、「できたり、わかったり」している児童で、最も肯定的回答をした児童は、大阪市や全国よりも多いことがわかる。個々の目標や課題に応じて、自分で練習方法を選択できるような授業であるということがわかる。

今後の取組

体力テストの結果を振り返り、体育科の授業で、自分に合った練習方法に取り組むことができる活動を増加させていく。